

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 4 月 9 日 (2009.4.9)

【公開番号】特開 2007-246561 (P2007-246561A)

【公開日】平成 19 年 9 月 27 日 (2007.9.27)

【年通号数】公開・登録公報 2007-037

【出願番号】特願 2006-68153 (P2006-68153)

【国際特許分類】

C 0 8 J 7/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/34 (2006.01)

C 0 8 K 3/38 (2006.01)

C 0 8 L 77/00 (2006.01)

B 2 9 C 45/00 (2006.01)

B 2 9 C 71/02 (2006.01)

B 2 9 K 77/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 J 7/00 3 0 2

C 0 8 K 3/34

C 0 8 K 3/38

C 0 8 L 77/00

B 2 9 C 45/00

B 2 9 C 71/02

B 2 9 K 77:00

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 2 月 19 日 (2009.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

J I S K 6 9 2 0 - 2 に従って、98%硫酸にて測定した相対粘度が 2.7 以下の低分子量ポリアミド樹脂 (A) 100 質量部に対して、少なくとも 2 個の重合性官能基を有する有機化合物 (B) 1 ~ 10 質量部、粒子径が 0.1 ~ 20  $\mu$ m のタルク、窒化ホウ素から選ばれる少なくとも 1 種類以上の充填材 (C) 100 ~ 5000 ppm、リン系熱安定剤 (D) 0.01 ~ 10 質量部からなる樹脂組成物を、所望の形状に射出成形した後、照射架橋して得られる 23、98%硫酸に実質的に不溶解である厚み 10 mm 以下のポリアミド樹脂成形品。

【請求項 2】

所望の形状に射出成形した後、アニール処理 (窒素雰囲気下 180 で 4 時間) 後、照射架橋して得られる請求項 1 に記載のポリアミド樹脂成形品。

【請求項 3】

(C) タルク、窒化ホウ素から選ばれる少なくとも 1 種以上の充填材 (C) の粒子径が 2 ~ 8  $\mu$ m であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のポリアミド樹脂成形品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0010】

すなわち、本発明は以下の通りである。

[1] J I S K 6 9 2 0 - 2 に従って、98%硫酸にて測定した相対粘度が2.7以下の低分子量ポリアミド樹脂(A)100質量部に対して、少なくとも2個の重合性官能基を有する有機化合物(B)1~10質量部、粒子径が0.1~20 $\mu$ mのタルク、窒化ホウ素から選ばれる少なくとも1種類以上の充填材(C)100~5000ppm、リン系熱安定剤(D)0.01~10質量部からなる樹脂組成物を、所望の形状に射出成形した後、照射架橋して得られる23、98%硫酸に実質的に不溶解である厚み10mm以下のポリアミド樹脂成形品、

[2] 所望の形状に射出成形した後、アニール処理(窒素雰囲気下180で4時間)後、照射架橋して得られるポリアミド樹脂成形品、

[3] (C)タルク、窒化ホウ素から選ばれる少なくとも1種以上の充填材(C)の粒子径が2~8 $\mu$ mであることを特徴とする請求項1または2に記載のポリアミド樹脂成形品。